

平成29年度 千葉県青少年相談員全体会

日時 平成29年12月3日(日)
午後1時30分～4時30分
会場 青葉の森公園芸術文化ホール



各地区連協の
つとめ大会の
様子だよ。

千葉県マスコットキャラクター
チーパくん

主催 千葉県
千葉県青少年相談員連絡協議会

プログラム

1 開 会

2 あいさつ

- ・千葉県知事 森田 健作
- ・千葉県青少年相談員連絡協議会会長 木名瀬 訓光

3 千葉県青少年相談員連絡協議会会長感謝状贈呈式

4 第39回「私の思い」～中学生の主張～千葉県大会最優秀賞受賞者の発表

- ・「友達ごっこ」 勝浦市立勝浦中学校 鈴木 華祈 さん

5 青少年によるアトラクション

- ・桜林高等学校 副校長 松田 剛幸氏の講話
和太鼓部・少林寺拳法部・書道部のコラポ発表

〈 休 憩 〉

6 事例発表

・市町村青少年相談員連絡協議会

「勝浦市青少年相談員の改革～今こそ事業の見直しをしてみませんか～」

発表者：勝浦市青少年相談員連絡協議会会長 中村 吉政

・地区青少年相談員連絡協議会

「印旛地区の独自取組～市町間の相互見学による、事業の新たな展開を目指して～」

発表者：印旛地区青少年相談員連絡協議会会長 爲田 浩

7 講演

演題「世界チャンピオンが見ていた世界 ～ビジョントレーニングと出会って～」

講師 元WBA世界スーパーフライ級チャンピオン 飯田 覚士 氏

8 大会宣言

9 閉 会

第 39 回「私の思い」～中学生の主張～千葉県大会最優秀賞受賞者の発表

「私の思い」～中学生の主張～は、昭和 54 年の国際児童年を契機に開催され、今年度、第 39 回目を迎えました。9 月 16 日に行われた千葉県大会では、1,811 点の応募の中から一次・二次審査で選ばれた 12 名の中学生が、自分の夢や希望、日常生活を通して感じていること、経験から得たことなど、それぞれの「思い」を発表し、勝浦市立勝浦中学校 1 年 鈴木 華祈さんが、最優秀賞（知事賞）を受賞しました。

■ 最優秀賞「友達ごっこ」

勝浦市立勝浦中学校 鈴木 華祈 さん

本当の友達とは何か。スマートフォンの中で繰り返される空虚な「友達ごっこ」に違和感を覚えた私は、実際に自分の目で見、感じることのできるものだけを信じて生きていこうと決意しました。



青少年によるアトラクション

桜林高等学校は、千葉市若葉区にあり、平成 13 年の開校以来、校訓「自己確立・自他共楽」のもと、自己を磨き、頼りとすることができる自分をつくり、他人を思いやる心と行動力・豊かな人間性を育むことを目指しています。部活動もさかんであり、和太鼓部、少林寺拳法部、書道部は、全国大会で活躍しています。

■ 桜林高等学校からのメッセージ

こんにちは桜林高校です。

私達は、桜林高校に入学してから太鼓、少林寺拳法、書道を始めて、「全国大会で優勝しよう！」を合言葉に、毎日練習しています。

そのかいあって、和太鼓部は、秋篠宮様と佳子様もご来場され、滋賀県で行われた全国大会に千葉県代表として出場してきました。

少林寺拳法部の豪快な演武は、今年の夏の全国高等学校総合体育大会、通称インターハイで、全国優勝二連覇を果たしました。

書道部は全国学生書道展において、大賞を受賞しています。

桜林高校を代表し、全国に名を馳せる、3つのクラブの共演を、存分にお楽しみ下さい。



事 例 発 表

■ 勝浦市青少年相談員連絡協議会

勝浦市青少年相談員連絡協議会は、青少年の健全育成を図るため、商工会青年部その他各団体と連携を図りながら活動しています。事業の大きな柱は、①中学生対象の講演会事業 ②小学生対象のつどい大会です。今期は、子どもの数の減少に対応するべく、事業の見直しに取り組みました。自分たちが毎年行ってきた事業を一度見直す事で、「継続すべき事業」と「改革すべき事業」とが見え、相談員自身の意識改革にもつながりました。



■ 印旛地区青少年相談員連絡協議会

印旛地区の本年度の独自の取組として、各市町の事業のブラッシュアップを目指す「事業の相互見学」があります。相談員共通の思いとして、もっといい事業はないだろうか、子どもたちの心に残る仕掛けや、もっと効果的な運営方法はないだろうか、と感じていました。そのとき、相互見学をしようという提案がありました。地区の他市町の事業を実際に見学することにより、お互いに気づくことがあります。年度末には、発表会を開催し、気づきの共有、成果の普及を目指します。



講 演

■ 演題「世界チャンピオンが見ていた世界 ～ビジョントレーニングと出会って～」

講師 元WBA世界スーパーフライ級チャンピオン 飯田 覚士 氏

元WBA世界スーパーフライ級チャンピオン。飯田覚士ボクシング塾ボックスファイ会長。日本視覚能力トレーニング協会代表理事。

大学時代にボクシングを始め、在学中に「天才！たけしの元気が出るテレビ」に出演、注目を集める。1991年プロデビューし、94年にプロ無敗のまま日本チャンピオンに。その後、1敗1分けを経て、3回目の挑戦で97年に世界チャンピオンとなる。2度目の防衛後、99年に引退。

現役当時から、日本のアスリート向けビジョントレーニングの第一人者に直接指導を受け、自らのビジョン能力を上げるとともに、ビジョントレーニングセミナーにも数多く参加。引退後、それらの経験を活かして、ビジョントレーニングと体幹トレーニングを融合させた子ども向けのオリジナルプログラムを開発。自身の息子の子育てにも取り入れながら、2004年に東京都中野区に「飯田覚士ボクシング塾 ボックスファイ」を設立し、一般の子どもたちの指導に当たる。

ビジョントレーニングの普及とボクシング界の底辺拡大を目指し、イベントや講演活動、ボクシング解説、雑誌連載など、幅広く活動中。



平成29年度千葉県青少年相談員全体会 大会宣言

次代を担う青少年が、心豊かで健やかにたくましく成長することは、県民すべての願いです。

これまで、私たち千葉県青少年相談員は、昭和38年の制度発足以来、知事から委嘱を受けて、長きにわたり、青少年と真に一体となり、各地域において青少年の健全育成活動に積極的に取り組んできました。

この間、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、青少年の問題もますます複雑化・深刻化しています。特に、インターネットの急速な普及は、子どもの遊びをバーチャルなものに変え、対人関係を希薄にさせるだけでなく、有害情報に触れやすくなる環境を作り出し、青少年の心の成長に大きな影響を与えています。

しかしながら、たとえ時代や社会がどんなに変わろうとも、私たち青少年相談員は、発足時からの「地域の子どもは地域で育てる」の理念のもと、子どもたちに寄り添い、共に喜び、共に語り、共に行動することを通して、子どもたちを守り育てていくことが、使命だと考えています。

私たちは、以下のことを基調として、地域の青少年の健全育成のリーダーとして自覚をもち、子どもたちを見守りながら、誇りをもって青少年の健全育成に取り組んでいきます。

- 1 青少年にスポーツや野外活動等の体験活動の良さを実感できるような事業の展開に努めます。
- 2 社会環境の浄化に努め、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進します。
- 3 研修等の機会を通じて、相互の連携を深めるとともに、青少年相談員としての資質の向上に努めます。
- 4 家庭・学校・地域の連携を図り、青少年相談員活動の一層の充実に努めます。
- 5 関係機関や青少年団体等と協力し、青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組みます。
- 6 「キミたちの笑顔が見たいから」を合言葉に、青少年健全育成に努めます。

以上、宣言いたします。

平成29年12月3日

千葉県青少年相談員連絡協議会

